

## 「イエス・キリストは生きておられる」

### コリント人への手紙第一 15章 3-6節

今日は、「イエス・キリストは生きておられる」というテーマでお話をします。聖書はコリント人への手紙第一 15章 3節から 6節です。

#### はじめに

今日はイエス様の復活、よみがえりをお祝いするイースターです。イエス様は、十字架につけられて殺されましたが、死んで三日目に生き返られました。それがキリストの復活です。つまり、イエス・キリストは、今も生きておられるのです。そして、キリストの復活こそ、十字架とともに、弟子たちが伝えた最も重要なことだったのでした。

**適用：**なぜ日曜日が休みなのかご存知でしょうか。それは、イエス・キリストが週の初めの日、つまり日曜日に復活なさったからなのです。そこでキリスト信者は、その日を記念して教会で礼拝するようになりました。

日曜日が休日なのでクリスチャンたちはこの日に礼拝しているわけではないんですね。その反対で、イエス様の弟子たちが、イエス様の復活を記念して、日曜日に礼拝したから、世の中の方がこの日を休日にしたのです。

日本で日曜日が休みになったのは、明治9年（1876年）のことです。国を開いたときに、外国人が日曜日は教会に行くので、休みにしないと不都合なことがいろいろあったので、官庁や学校を日曜日休みとしました。

ですから、日曜日休日は、キリストの復活から来ているのです。

#### 疑問（どうして死んだ人が生き返るのか）

キリストが生き返ったということ、そんなばかな、死んだ人が生き返るはずがないと、普通は考えますよね。しかし、キリスト教の聖典である聖書は、

イエス・キリストは確かに生き返ったと伝えているのです。そして、それを、キリストの十字架とともに最も大切なこととして、伝えてきているのです。

つまり、イエス・キリストの復活がなければ、キリスト教は成り立たないのです。

## 証言

聖書によると、イエス様が生きていることを見た人は、500人以上いたと言われていますし、そのことを記しているコリント人への手紙が書かれた喜西暦55年から56年ごろ頃、その中の多くの人はまだ生きていたのです。

そのことの証人として、多くの弟子は命がけで伝道し、教会が迫害された時、殉教した人も少なくありません。それほど、キリストの復活はキリスト教の中心なのです。いくら信じられないといっても、これを除いたら、キリスト教はキリスト教ではなくなってしまいます。

## どのようにして

では、どのようにしてキリストは生き返ったのでしょうか。それは、神様がキリストを生き返らせたのです。神様は、天地の造り主で、全能の神ですから、お出来にならないこと、不可能なことは一つもないのです。神様なら、死人を生き返らすことも簡単なことです。

## 生き返った理由

では、なぜイエス様は生き返ったのでしょうか。それは、生きた救い主として私たちを助けるためです。イエス様は、たんに教えを残しただけではありません。「わたしは正しい・良い教えを残した。だから、あなたがたは頑張って、わたしの教えをしっかりと守りなさい」と教えたのではないのです。私たちはイエス様の教えを守れないのです。イエス様がどんなに良い教えを残したとしても、私たちはそれを守れないのです。ですから、イエス様は私たちを助け、救うために生き返られたのです。イエス様は、生きておられるからこそ、私たちの祈りを聞き、助けることがお出来になるのです。

もう一つの目的は、私たちも復活することを保証するためです。私たちは、死んで墓で朽ちてしまうのではありません。復活して、神様の国で永遠に生きるのです。それが復活の意味です。

**キリストは、どこで生きておられるのか。**

キリストは、地上のどこかで生きておられるのではありません。キリストは、復活後 40 日目に天にお帰りになり、今は天で生きておいでになります。では、天におられるキリストがどうして私たちを救い、助けることができになるのでしょうか。それは、ご自身の代わりに「助け主」として「聖霊」をお遣わしになりました。聖霊は、「信じる者ととも、信じる者のうちにおられ」て、救い、助けてくださるのです。「キリストがともにおられる」というのは、キリストが聖霊によって私たちとともにおられるということです。

**信じるとどうなる？**

復活を信じる者には、希望があります。人生で失敗しても、苦しくてどうにもならなくても、イエス様が助けてくださり、また私たちには復活があるのです。そういう希望があるのです。死んでも永遠に神のもとで生きる希望があります。

**ファニー・クロスビー**

ファニー・クロスビーの話をしましょう。彼女は生涯 8000 もの讃美歌を書き、その歌集は 100 万部以上といわれる世界で最も有名な讃美歌作者です。日本でも愛唱されているのは、「つみとがをゆるされ」「われに聞かしめよ」「救い主イエスと」「十字架のかげに」「イエスよ、この身を」など、日本の聖歌に 24 曲、新韓日讃頌歌にも 21 曲載っています。

彼女は、生まれて間もなく失明しましたが、とても聡明で活発な子で、外で友達とおにごっこをしたり、信仰の厚いおばあさんから毎日聖書を読んでもらい、聖書の多くの書を暗記していました。ミルトンなどの詩も読んでもらい、それを暗唱していました。ニューヨークの盲学校に入りまし

たが、成績優秀で、国会議員の前で最初に演説した盲人として知られました。学生として8年、教師として15年そこに居ました。30歳の時に、リバイバル集会で真の信仰に目覚めました。讃美歌作家としてだけでなく、説教者、救済事業家としても有名で、アメリカで最も尊敬されている一人となっています。

盲学校で知り合ったアルスタインと結婚し、子が生まれましたが、数か月で死んでしまいました。その時に書いたのが「イエスのみうでに」という讃美歌でした。

イエスのみうでに そのみむねに  
しずかにいこう われはやすし  
あまつつかいの うたのこえも  
こころにちかく きこゆるなり  
イエスのみうでに そのみむねに  
しずかにいこう われはやすし

イエスはとこよの いわにませば  
いけるかぎりは たよらまほし  
さかえかがやく くににさむる  
とこよのあさを まちわびつつ

盲目のファニー・クロスビーを救い、導き、助けたイエス・キリストは、いま生きていて私たちを助けて下さいます。どんな困難・苦難の中でも、イエス様は私たちを助けてくださるのです。それだけでなく、私たちに死を越えて、永遠の希望を与えて下さいます。イエス様が生きておられるので、私たちも滅びるのではなく、生きるのです。

まとめ

皆様もイエス・キリストが今も生きておいでになることを信じて、どんな時にも希望を持って生きていって行きましょう。

クロスビーが書いた531番「われに来よ、と主はいま」を賛美しましょう。